

脳神経検査

氏名 _____ 様

検査者 _____

検査日 _____

I. 嗅神経

用いた物質(タバコ・コーヒー・石鹸・香水・ハッカ・その他 _____)

	右	左
嗅覚	正常 ・ 低下 ・ 消失 ・ 過敏 ・ 錯誤	正常 ・ 低下 ・ 消失 ・ 過敏 ・ 錯誤

* 刺激物は用いると三叉神経を刺激するので適当でない。* 閉眼で、一側鼻孔をふさいで行い左右差を比較する。

II. 視神経

視野	
----	--

* 対座法にて目と目の間を80cmあけ、片目ずつ行う。

III. 動眼神経 IV. 滑車神経 VI. 外転神経

	右	左
眼瞼下垂	- ・ +	- ・ +
瞳孔の大きさ	正常 ・ 縮瞳 ・ 散瞳	正常 ・ 縮瞳 ・ 散瞳
眼球運動(追視)		
眼振	- ・ +	- ・ +

* 眼球運動は対座で眼前50～60cmの視標を両眼視させ、示指の先端などを追視させる。

* 眼振は対座で示指を追視させ左右・上下に30°くらい回転させる。

V. 三叉神経

知覚性	触覚検査・痛覚検査・温度覚検査にて検査
-----	---------------------

	右	左	
運動性 (咀嚼筋)	側頭筋	正常 ・ 低下 ・ 触知不能	正常 ・ 低下 ・ 触知不能
	咬筋	正常 ・ 低下 ・ 触知不能	正常 ・ 低下 ・ 触知不能
	下顎の偏位	正常 ・ 右方偏位 ・ 左方偏位	

* 歯を食いしばってもらい、側頭筋・咬筋の触診

* 開口してもらい、下顎の偏位をみる。開口に抵抗をかけるとさらに偏位が著明となる

* 下顎の偏位では末梢性では障害側へ、中枢性では健側へ偏位する

VII. 顔面神経

顔つき(左右差)	対称 ・ 非対称
----------	----------

運動機能	上顔面筋	前頭筋	額に皺を寄せる： 可 ・ 不可	皺の左右差： + ・ -
		眼輪筋	右眼・左眼・両眼	正常・麻痺（まっげ徴候・兔眼）
	下顔面筋	口輪筋	「い」の時の口角の左右差	- ・ +（ ）
			頬を膨らませたときの空気の漏れ	- ・ +（右・左）
			「ばびぷべぽ」の発音(唇音)	明瞭・やや不明瞭・不明瞭
			笑う時の口角の観察	正常・（ ）
			食物が頬と歯の間に溜まる	たまらない・右にたまる・左にたまる
流涎	なし・右から・左から			
	広頸筋	「へ」	正常・広頸筋徴候陽性(右・左)	

* 広頸筋徴候とは一側性に広頸筋の収縮が欠如すること

味覚(舌前 2/3)	味がわかる ・ わかりにくい ・ わからない
------------	------------------------

		右	左
顔面筋 反射	眼輪筋反射	- ・ ± ・ + ・ ++ ・ +++ ・ ++++	- ・ ± ・ + ・ ++ ・ +++ ・ ++++
	口輪筋反射	- ・ ± ・ + ・ ++ ・ +++ ・ ++++	- ・ ± ・ + ・ ++ ・ +++ ・ ++++
	眉間反射	左右差の比較： マイヤーソン徴候(+ ・ -)	

VIII. 内耳神経

		右	左
聴力	時計	正常 ・ 難聴	正常 ・ 難聴
	音叉	正常 ・ 難聴	正常 ・ 難聴
	Rinne 試験	正常(+) ・ 異常(-)	正常(+) ・ 異常(-)
	Weber 試験	正常(左右同じ) ・ 右に偏位(大きく聞こえる) ・ 左に偏位	
前庭機能	ふらつき試験 (Romberg 試験)	開眼(+ ・ -)	閉眼(+ ・ -)
	足踏み試験	開眼(+ ・ -)	閉眼(+ ・ -)

* Rinne 試験：振動させた音叉を乳様突起に押し当て、骨からの振動音が聞こえなくなったときに合図してもらい、音叉を離して外耳孔の4~5cmのところ付近に近づける。そしてなお振動音が聞こえるかどうかを検査

* Weber 試験：振動させた音叉を前額部の中央に当てる。振動音が左右の耳のどちらに強く響くか尋ねる

* Romberg 試験：立位で両足をそろえ、つま先を閉じ、両上肢を前方挙上する。閉眼により身体の動揺が著明となるかみる

* 足踏み試験：閉眼して足踏みをさせ、回転状況を見る

IX. 舌咽神経 X. 迷走神経

観察	口蓋垂	正常 ・ 右に偏位 ・ 左に偏位
	口蓋帆	正常 ・ 挙上(右) ・ 挙上(左)
咽頭・嚥下反射	正常 ・ 消失(右) ・ 消失(左)	
嚥下	<嚥下に関する情報>	

*口蓋垂・口蓋帆の観察では開口して「アーアー」発声してもらう

*一側の麻痺で口蓋垂の健側偏位、口蓋帆の健側挙上(カーテン徴候)

XI. 副神経

	右	左
僧帽筋上部	MMT	MMT
胸鎖乳突筋	MMT	MMT

XII. 舌下神経

舌筋の運動機能	舌の萎縮	- ・ +
	Fasciculation (線維束攣縮：細かな振るえ)	- ・ +
	舌の偏位	- ・ + (右に偏位 ・ 左に偏位)
	舌の筋力	左右差なし ・ 右が強い ・ 左が強い
	舌の連続運動	正常 ・ 異常 ()
構音障害(舌音)	- ・ +	ex. ルリも針も照らせば光る

*舌の筋力：舌先で頬を押すように指示。検者は頬の外側から抵抗をかける

*舌の連続性：舌を口からできるだけ出させ、その位置でできるだけ速く左右に動かしたり、出し入れさせる